

所 信 表 明

令和3年4月18日執行の丸亀市長選挙におきまして、市民の皆様からの温かいご支援・ご支持を賜り、丸亀市長として新たに市政運営を担わせていただくこととなりました。

今期定例会の開催にあたりまして、これからの丸亀市政に対する私の思いを申し上げる機会をいただきましたことは、誠に光栄であると同時に、私に寄せられる期待と与えられた使命に、一層身が引き締まる思いでございます。

これから始まる4年間、私の愛する丸亀市の発展と丸亀市民の福祉の向上を目指して、持てる力の限り、情熱を注いで取り組んでいく決意でありますので、議員各位におかれましても、格別のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

今、100年に一度と言われる世界的パンデミックとなった新型コロナウイルスは、様々な変異株をもたらしながら、依然として先行きが見通せない状況が続いています。

私は、昨年市長選挙に出馬を表明して以降、1万人を超える市民の皆様との対話を重ねるなかで、苦しい生活を強いられている子育て世代、事業継続の危機に追い込まれている事業者など、数多くの深刻な状況を目のあたりにしてまいりました。

それ以降においても、香川県内での感染者数は急拡大を続け、感染警戒レベルが最も高い「緊急事態対策期」に引き上げられるなど、市民の皆様にとってもコロナの脅威が実感として差し迫っている状況となっています。何度も押し寄せるコロナの波、それによって繰り返される活動の自粛に市民の皆様は辟易し、言いようのない閉塞感に苛まれているものと思います。

こうした状況の中、市民の皆様からの負託を受けました私が、一番に取り組まなければならないと考えますが、感染症に強いまちづくりと、1年以上続くコロナ禍で冷え込んだ、市内経済への緊急経済対策であります。

前市政が築き上げてこられた医師会との協力体制を引き継ぎ、PCR検査や感染症対策の充実とともに、多くの皆様が待ち望まれているワクチン接種を早急にすすめ、一日も早く市民の皆様に安心感をもたらしてまいりたいのであります。

また、コロナとの共存、克服に向けた取組には、市民の皆様のご協力も不可欠です。あらためまして、マスクの着用や手洗い、3密の回避、適切な換気などの基本的な感染対策はもとより、会食はできるだけ少人数で短時間に済ませるなど、一人ひとりの感染リスクを下げる工夫をよろしくお願いいたします。

その一方で、限界が来ている市民を救い、これから迎える困難を乗り切るためには、今こそもう一度経済対策を打つ必要があるものと存じます。

こうした思いから私は、全市民に10万円を支給する「コロナ緊急経済対策」を公約に掲げました。その実現に向けましては、市議会をはじめ、多くの市民の皆様から様々なご意見をいただいております。本議会では、市内事業者へ効果的に還元される仕組みや財政計画に影響を及ぼさない財源調達など、決して将来に禍根を残すことのない実施方法を考え抜き、ご提案させていただいております。

この政策が実現できた暁には、市民の皆様にはあらためて丸亀市内で消費することの大切さを感じてもらい、事業者の皆様には

消費を取り込む工夫を重ねていただきたいと存じます。

私は、こうした感染防止対策と経済対策を両輪として、感染症に強い丸亀市を創っていく、これを目下の最優先課題として取り組んでまいり所存であります。

一方で、コロナ以外の本市の状況に目を向けますと、少子高齢化による人口構造の変化や、コロナ禍で浮彫となった行政のデジタル化の遅れへの対応のほか、丸亀城の石垣修復をはじめ、道路や教育施設、新市民会館の整備などの課題が山積しております。こうした課題を解決し、市政を着実に前進させていくためには、市議会との調整力といった、ここ数年間の市政運営で課題となっている状況を打開する実行力も、私には強く求められているものと認識いたしております。

そこで、私がこの4年間で目指す政策の一端と方向性について、述べさせていただきます。

はじめに、将来の丸亀を担う子どもたちへの教育についてでございます。

子どもの教育を取り巻く大きな課題の一つとして、核家族化の進行や共働き世帯の増加、また、教員の多忙化などにより、保護者や教員が子どもたちと余裕を持って向き合う時間を取りづらくなっている状況があげられます。

私は、これまでも市内の一部の地域で取り組まれてきた地域学校協働活動について、市内全体で一層の充実が図られますよう、地域住民との協働体制を強化し、「まち全体が学校」と言えるような、市民全体で丸亀の子どもたちを育てる環境を実現してまいりたいのであります。

一方、ハード面では、トイレの環境改善をはじめ、学校施設の

老朽化への対策が求められております。そのため、学校施設長寿命化計画を基本に、状況に応じた対応もとりながら、子どもたちが安心して快適に学び、過ごせる教育環境を創り上げてまいります。

また、子どもたちが心身ともにのびのびと成長するためには、元気いっぱい遊ぶことができる場所が必要です。かねてより、身近に遊べる公園が少ないと言われている本市の現状を踏まえ、子育て世代の満足度を高められる公園整備にも取り組んでまいります。

私は、次代を担う子どもたちがたくましく成長し、丸亀で育ったことを誇りに感じてもらいながら、新しい時代をしなやかに生き抜いていけるように、こうした未来へ種を蒔く取組を展開してまいりたいのであります。

次に、地域を支える産業についてでございます。

丸亀市がいつまでも魅力的なまちとして発展し続けるためには、市内の経済活動を持続・循環させるための産業の育成や支援が不可欠であります。その第一歩となるのが、市民をはじめ、多くの方に地元企業のことを知ってもらうことでもあります。

そこで、まずは、子どもの頃から地域の企業について学ぶ産業教育や職場体験等の取組を、一層強化してすすめてまいります。また、市内の魅力ある企業を、行政も一緒になってアピールすることで、丸亀市で働きたい人たちを増やしていきたいと考えております。

さらに、多くの誇れる地場産品を持つ農業や水産業の活力増強も必要な取組の一つであると考えます。私も農家に生まれ育ち、専業農家としてがんばり、ご苦労されている方をたくさん存じておりますが、この分野では、特に夢のある取組を推進することが

大切であると考えております。

そこで、6次産業化などを促進し、農業や水産業のビジネス化を図ることにより、明日の農業や水産業の担い手の参入や育成のほか、耕作放棄地の有効活用などにも取り組んでまいります。

また、こうした農水産物の消費拡大にあたりましては、私自身がトップセールスにも力を入れ、丸亀市が誇る地場産品を自信を持って売り込んでまいりたいと存じます。

次に、私たちの生活を潤し、豊かな人間形成にもつながる文化や、生涯学習、スポーツについてでございます。

本市は、シンボル丸亀城や猪熊弦一郎現代美術館に象徴されますように、歴史と文化が薫るまちとして発展してまいりました。その文化振興を支えていただいている文化協会や生涯学習クラブなどにつきましては、引き続き新市民会館整備などの課題を一つひとつクリアして活動場所を確保し、丸亀市が一層品格のあるまち、にぎわいのあるまちとして進化を遂げるための基盤整備を着実にすすめてまいります。

さらに本市は、県内随一のスポーツ拠点である丸亀総合運動公園を有し、香川県立丸亀競技場や丸亀市民球場などを活用してのスポーツを通じたにぎわいづくりの観点からも、恵まれた環境にございます。また時期的にも、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会や、令和4年度に予定されている全国高等学校総合体育大会などを追い風として、スポーツへの機運醸成は一層期待されるところであります。

私は、これらの丸亀市特有の貴重な資源を存分に活用しながら、市民の皆様のそれぞれの活動を支援し、活気に満ちた魅力あふれるまちづくりを展開してまいります。

一方、私たちの生活の基盤となりますインフラ整備などにつきましては、行政の大切な役割の一つであり、産業の発展や防災面においても重要な施策であると考えております。

これまで多くの地方都市が直面している中心市街地の空洞化や商店街の衰退などは、本市も例外ではございません。

しかし今、本市の中心市街地は、新庁舎と市民交流活動センター（愛称マルタス）が完成し、ビジネスホテルやマンションなどの民間投資が見られるなど、新たな人の動きが出てきており、お城を中心とした街なかのゾーンが新しく生まれ変わろうとしています。

私は、この好機を逃すことのないよう、大手町地区の再編整備のほか、丸亀駅北地区の生活道路や、丸亀駅前からの県道丸亀停車場線での歩道整備の推進により、丸亀港から丸亀駅、商店街、そして大手町4街区から丸亀城へとつながる中心市街地に、元気をもたらしてまいりたいのであります。また、こうした中心拠点の整備と合わせて、都市計画マスタープランに基づき、綾歌・飯山地区の地域拠点の活性化を目指し、多極分散型のまちづくりの実践につなげてまいります。

一方、市道西土器南北線や市道原田金倉線などの主要幹線道路や、新浄化センターなどの整備につきましては、市民の皆様をお待たせしている状況でございますので、迅速に完了できますよう、財源の確保に向け、国や県への要望活動など、しっかりと汗をかいてまいり所存でございます。

瀬戸内の温暖な気候と、地震や大雨などによる自然災害の少ない地域性は、私たちのふるさと丸亀の大きな魅力です。しかしながら、昨今の甚大な被害をもたらしている豪雨や台風などの自然災害は、全国の各地で発生しており、私たちにとっても「対岸の火事」と決して楽観できる状況にはございません。そのため、引

引き続き浸水対策をすすめますとともに、市民の防災意識の向上にも取り組み、災害に強いまちづくりをすすめてまいります。

今の平和で豊かな時代、そして、私もそうであったように、この丸亀で生まれ育ち、自由に人生を選択することができ、現在の自分があるのは、ひとえに先人の皆様のご苦勞があったからこそと強く感じるところでございます。

そのため、この時代を創り上げてきた方々への敬意と感謝を表すため、本市における敬老事業等のあり方をあらためて見直したいと考えております。先輩方には、いつまでもお元気で、生きがいのある豊かな生活を、この丸亀の地で送って欲しいと願うものであります。

また、人権尊重社会や男女共同参画社会などの実現は、これからも変わらぬ共通の目標であり、まちづくりの原則である協働につきましても、マルタスを拠点に新たな市民活動を支援するなど、行政の継続性が求められる取組につきましても、引き続き着実に取り組んでまいります。

ここまで、私の考える政策の一端を述べさせていただきました。

これらの取組を実現していくための財政基盤は、コロナの影響なども踏まえ、今後もしばらくの間は、厳しい状況が続くものと認識いたしております。そのため、私たちは知恵を絞り、汗を流し、創意と工夫で持続可能な行財政運営を実行していかなければなりません。

人口や雇用対策などによる安定した税収の確保を基本としつつ、国や県とのパイプを通じた財源の獲得、さらには、ふるさと納税におきましても、新たな寄附者の掘り起こしや、返礼品のさ

らなる充実に取り組みます。

また、地域の皆様とともに歩み、今年で開設 69 周年を迎えるボートレース事業につきましては、安全安心な運営に努め、更なる収益の確保に向けて、私が自らビッグレースの誘致に足を運んでまいります。

一方で、最小の経費で最大の効果を生み出す行政システムの構築といたしまして、私は、今後の市政運営において次の視点を大切にしながら取り組んでまいります。

一つは、広域行政の推進であります。人口減少が深刻化し、高齢者人口がピークを迎える 2040 年頃を見据えますと、今の段階から広域行政による取組を強化し、スケールメリットによる業務の効率化や財政基盤の強化などを目指すことが必要と考えます。

中讃広域の構成市町をはじめ、近隣の自治体と手を取り合い、協力しながら、事務事業や財政負担の合理化をすすめてまいります。

もう一つは、民間の力を借りることでございます。市役所の人手不足の問題も生じている中、業務の官民分担をあらためて検討する必要があり、民営化や民間活力の活用は、限られた人材の適正配置、経営効率、働き方の観点からも、避けて通れない方向性であると考えます。

これまでのごみ収集運搬業務や学校給食調理業務などのように、民間の力を借りられるところには積極的に民間の力を活用し、専門性を生かした市民サービスの向上も図りながら、行政運営の最適化をすすめてまいります。

最後に、あらためて私の決意を申し上げます。

冒頭にも申しましたとおり、私の使命は、丸亀市の発展と丸亀

市民の皆様の福祉の向上を実現することであります。コロナ禍という未曾有の危機に直面しながらも、この状況を打ち破り、共存する新たな丸亀市を築いていくことが、市民の皆様から私に託された願いであります。

これから私がすすめる市政運営にあたりましては、数々の困難が立ちほだかることを覚悟しておりますが、私は七転び八起きの精神で、必ずや成し遂げてまいる決意であります。

新米市長として未熟な面も多々あろうかと存じますが、4期16年務めた市議会議員時代からの国や県とのつながりも生かしながら、座右の銘であります「終始一誠意」を胸に、すべての人に誠実な政治姿勢を貫き、令和時代の新たな丸亀市の創造に力の限りを尽くしてまいる所存であります。

あらためまして、議員各位並びに市民の皆様におかれましては、本市のさらなる発展のため、格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の所信表明とさせていただきます。